



竹田ゆかり市政通信

「通信」という言葉には交流・ふれあいの意味があります

〒248-0024 鎌倉市稲村ガ崎 5-31-11 連絡先 090-3535-4474

E-mail yukari.ain@gmail.com ホームページ <http://yukari-0031.xsrv.jp>

子ども達に、

平和な社会を残したい！

国民の大多数が、強行採決に反対の声を挙げる

中、総理自らも、「国民の理解が得られていない」ことを認めながら、「安全保障関連法案」が、衆議院で強行採決されました。安倍総理が言う「国民の理解」とは、質問をはぐらかし、矛盾した答弁を何度も繰り返すことで「国民をねじ伏せること」だろうか。国民はむしろ、この法案が、「日本の平和を守るどころか、日本を危険にさらすことになる」と理解し始めているのです。

70年前、多くの犠牲を払って、「戦争で平和な国がつかれない」ことを学んだ日本は、「国際紛争を解決する手段として、戦争や武力行使を永久に放棄すること」を国民みんなが約束した、それが「日本国憲法」です。

ところが安倍総理は昨年、これまで長年にわたって確立されてきた「**集団的自衛権は憲法上行使できない**」という憲法解釈を、国民に問うこともなく閣議決定で変更しました。そして日本が直接攻撃されていなくても、戦争に参加することのできる国につくり変えようとしています。「武力行使の可能性を拡大すれば、抑止力が強化され、日本はより安全になる」という主張ですが、極めて論理性を欠き抽象的な説明です。この間の国会での審議でも、「法案が憲法違反ではない」とする納得できる答弁は、ついになされませんでした。

鎌倉市議会は7月1日に「安全保障関連法案の撤回を求める意見書」を可決しました。(竹田、賛成討論) 子ども達に平和な社会を残すため、これからも力を尽くしたいと思います。



認知症早期発見で重度化防止を！ 介護予防で高齢者生活の質の向上を！

6月一般質問(1)

厚労省の補助事業による調査によると、認知症患者の家族らによる無償の介護をお金で換算すると、認知症患者の医療・介護にかかった社会的費用全体の4割を占めることが分かりました。

鎌倉市の認知症患者数は推計 8,000 人、そのうち 5,400 人が介護認定を受けています。ということは、およそ 2,600 人の認知症の方が、介護認定を受けていないと推計されます。

●認知症の重度化を防ぎ、介護者の支援のためにも、未認定の方の早期認定に取り組むことを求めました。また、●介護予防対象者の掘り起こしを積極的に行うことで、認知症予防につなげるよう求めました。更に、●「介護予防は心身機能の改善を目指すだけでなく、生きがい・自己実現の支援をめざすもの」と捉え、シニア世代の起業支援の取り組みを求めました。

緊急地震速報を生かした対策を…

6月一般質問(2)

緊急地震速報は、地震の初期微動をキャッチして、想定される揺れの強さを自動計算して、強い揺れが到達するまでの数秒から数 10 秒前に素早くお知らせするものです。しかし、せっかく速報が届いても、活用されなければ意味がありません。●市の公共施設利用者の安全確保のために、「緊急地震速報」を活用したマニュアル整備・訓練の実施を求めました。また、●小中学校への「緊急地震速報受信端末」の設置を求めました。設置されれば、速報が一斉に校内放送され、より危険回避行動を的確にとることができます。一方、●土砂災害警戒区域住民への的確な避難行動の周知に、



一層努めること、今後指定される「土砂災害特別警戒区域」内住民への、家屋構造耐力診断補助制度導入を求めました。また●打越地区山裾への側溝設置を求めました。

ゆとりをもって、子ども達と向き合う

ために—教職員の事務作業の負担軽減を

6月一般質問(3)

学校給食の実施は、学校給食法第4条で「義務教育諸学校の設置者」が果たすべき任務とされています。実施にあたっては、食材費を保護者から給食費として徴収していますが、鎌倉市では、この給食費に関する徴収・管理・運営・支出の全ての事務作業を、学校教職員が行っています。

銀行への登録業務、未納者の入金チェック、督促状配布、出納簿への打ち込み、業者への払い込み、出納関係の書類づくり等々多岐にわたり、その他さまざまな事務作業も含め、教職員は多くの時間を費やしています。

昨年、明らかにされた OECD の調査結果でも、日本の教職員の勤務時間が 33 か国中もっとも長く、特に事務作業時間が突出していることがわかりました。●教職員の本来の業務である授業や児童生徒の指導に専念し、ゆとりをもって子ども達と向き合う環境を作るために、学校事務作業の軽減にむけて、給食会計事務を行う人員の配置を求めました。



御成小旧講堂保存は、

「一部の人のノスタルジー」なのか？

(これまでの経過)

鎌倉市は、20年前、御成小校舎改築時に、「講堂は修復保存して利用する」ことを決定していた。その後、利用方法が検討されたが、実施されることなく放置され、老朽化が進んだ。

昨年12月、現況調査がなされ、今年3月にまとめられた報告書の概要は、次の4点に絞られる。1. 国内に残存している大規模木造講堂として貴重な建築物である。2. 屋根葺き材がアスベストスレート板。欠損し劣化が著しい。3. 耐震性は低く大地震で倒壊の可能性高い。4. 伝統木造建築で、大変強固。耐震改修を行えば、引き続き使用可能。

その後のアスベスト濃度調査で、大気中・土壌中の残存に問題なしと分かる。

7月13日市長から以下の報告がなされた。夏休み中にアスベストスレート板を除去し、金属板で覆う。戦前の小学校として市内唯一の遺構であり、景観としても重要と判断。今後は学校施設として活用する方向で検討する。

(ノスタルジー発言)

旧講堂の取り扱いについて、一部議員から、「一部の市民のノスタルジーのためだけに残していいのか。」



との発言が繰り返されているが、市は現在「歴史町づくり法にもとづく歴史的風致維持」に取り組んでいる。その趣旨は、「地域固有の風情、情緒、たたずまいを醸し出している、その良好な環境を後世に継承する…」ことにある。まさに、ノスタルジーの尊重・継承であるのだが…。

鎌倉の子ども達に

最もふさわしい教科書を…

今年の夏、来年度から使用される公立中学校の教科書の採択が、各自治体の教育委員会で行われます。

教科書採択は、市民や保護者の意見、各学校の教職員による調査結果、教育委員会から委嘱された調査員による調査結果をもとに、「教科用図書採択検討委員会」が比較検討を行い、「調査研究報告書」として、教育委員会に答申します。

そして教育委員会では、十分な審議の上、採択教科書を決定します。(鎌倉市は8/4・公開)

6月議会の一般質問で、高橋議員から、「調査研究報告書」に、星印を付けるのは、採択の絞り込みになる！やめるべきではないか！との質問に、教育部長から、「鎌倉の子ども達に最もふさわしい教科書という観点で、星印表示をしてもらっているが、教育委員会はその他、さまざまな資料を参考にしながら十分に審議をして決定している…」との答弁がありました。

高橋議員の一般質問終了後、関連質問に立ち、衆議院文部科学委員会(4/22)で小松政府参考人が、「調査研究の結果として、何らかの評定を付し、それも参考に教科書採択を行うことが、不適切というものではない」と答弁している事実を確認しました。

また、教科書無償措置法では、採択に教育専門的な知識・経験・判断が必要であるとして、「審議会・調査員等の報告を教育委員会が尊重すべきもの…」と位置付けていることも、確認しました。

経過報告1. 普通教室空調設備設置

議会のたびに必要性を訴えてきた「普通教室空調設備設置」がいよいよ始まります。今年は設計業務委託がなされ、来年夏休みに設置されるのは、次の6中学校です。御成中・腰越中・深沢中・手広中・玉縄中・岩瀬中。

経過報告2. 就学援助制度の周知

2月一般質問で「就学援助制度の案内」を毎年進級時に保護者全戸に配布することを求めました。この4月から実施され、7月7日現在、認定者数が例年の増加率を上回り、前年比117.4%となりました。制度から漏れる子どもが出ないように、今後とも引き続きの取り組みが必要です。

<お知らせ>

市政へのご意見、ご要望、ご相談をいつでもお受けしています。お気軽にご連絡ください。